

# ウィンターキャンプ 障害を持つ子どもたちの心からの 笑顔～みんなの絆を深めよう～

教育・発達基礎コース 3回 藤原靖子  
小島安浩

# 実施日時・場所

## ◎日時

2013年 2月16日（土）～17日（日）

## ◎場所

今庄365スキー場      福井県南条郡今庄町

## ◎宿泊場所

ロッジ365

# ウィンターキャンプの目的及び概要

- ◎障害を持つ子どもとその家族とともに1泊2日のウィンターキャンプを実施。
- ◎普段、体験することのできない雪遊びや宿泊を通して、子どもの成長の場となる。
- ◎学生が同行することによって、より子どもたちの安全面に配慮することができるので、家族も安心して参加できる。

# 支援経費

物品示達額 367,000円

執行額 353,600円

内訳 バス2台借り上げ代のみ

残金 13,400円

(自己負担額 4,059円 (文房具等) )

# 参加人数

◎障害を持つ子ども 7名

◎そのきょうだい 2名

◎保護者 7名

◎学生 27名（内、実行委員会8名）

◎教員 2名



# ウィンターキャンプ実施状況

## <実施前>

- ・保護者や引率の先生方とのミーティング
- ・子ども用のしおりとは別に「安全のしおり」を制作、保護者、学生、先生全員に配布し、安全性と緊急時の連携を高める。

## <実施当日>

- ・スキー場到着～出発前まで、できるだけ長くスキー場でのそり遊びや雪遊びの時間を確保。
- ・バス車内...自己紹介などのオリエンテーションを通して、子ども・保護者・学生間のつながりを深めた。
- ・施設内...外に出られない子どもも楽しめるような工作やゲームの実施。夕食後は、全員でビンゴゲームなどの集いの場を設けた。
- ・1日目の夜に保護者を交えた報告会
- ・キャンプの後に学生だけで報告会、反省会

# キャンプ中の写真



# キャンプ中の写真





# キャンプ中の写真



# キャンプ中の写真



# 実施の成果

- ◎誰も怪我をすることなく、楽しく無事にキャンプを終えられた。
- ◎子ども全員がゲレンデに出ることができた。
- ◎参加学生が多かったなので、前日の変更にも柔軟に対応してくれた。
- ◎また、学生が多いことは保護者の方々にとって安心できる材料であった。
- ◎バス2台だったため、窮屈になることなくゆったりとした状態で子どもが長時間バスに乗れることができた。

# 活動を通して

- ◎動くことや着替えが苦手な子たちが積極的にゲレンデに出て、学生や保護者だけでなく子ども同士、触れ合っているのが見ることができ、子どもの成長を感じることができた。
- ◎ゲレンデの雪の状況や天候によって、休憩場所や活動範囲の変更も念頭に置いて考えておくべきだった。
- ◎障害のある子どもと1泊2日のキャンプに行くことは、学生にとって滅多にない機会です。教員になるにあたって生かせるものになると思う。
- ◎保護者からも「昨年よりも成長した姿が見られた」「普段見せない顔が見られた」との声をいただいたので、続けていきたい。

これからもご支援よろしく願いいたします。

ご静聴、  
ありがとうございました。  
た。

